

2019 年 8 月 21 日

こそだて家族研究所  X 
ママ★スタジアム

ひとりっ子ママ・複数子ママ調査

理想の子ども人数は2.6人。対して、ひとりっ子を予定/希望するママの50.7%が、経済的余裕のなさを理由にあげる。
兄弟姉妹の子育ては、公平を心掛けるママが過半数の一方で、可愛さや接し方に差があると答えたママは31.9%。
5割以上のママが、子どもの出産や人数、性別のことを他人から言われて、嫌な思いを経験している。

博報堂こそだて家族研究所*1は、インターネット広告・メディア運営事業の株式会社インタースペースと協働で、インタースペース社が運営するママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム*2」(<http://mamastar.jp/>)にて、「ママリサーチ〜いまどきママリサーチ〜」を行っています。この度、こそだて世代における子どもの人数や兄弟姉妹に関する調査を実施いたしました。

2018年は出生数が過去最低を更新。出生率(合計特殊出生率)が1.42と低迷する中、「希望出生率1.8*」の実現を目標に、現在、国をあげて少子化対策が推し進められようとしています。そんな中、当事者であるママたちは、子どもの人数や兄弟姉妹の子育てに対して、どのような思いを抱えているのでしょうか。以下、調査結果の主なポイントをご紹介します。

*希望出生率：若い世代における、結婚、子どもの数に関する希望がかなうとした場合に想定される出生率（内閣府作成）注：今回の調査と異なり、独身者の希望数を含んだ数値

<調査結果のポイント>

- 8割以上のママが、子どもは2～3人が理想（全体平均2.6人）。3人以上ママになると、理想の人数が実数を下回る傾向あり。
- ひとりっ子を予定/希望するママの50.7%は、経済的余裕のなさが理由。年齢的な理由は40.3%。
- ひとりっ子のメリットは、愛情も時間もお金も一人に注げること。複数子のメリットは、子ども同士で成長し合えること。ママの負担に関しては、ひとりっ子の方が楽だという意見がある一方、複数子の方が楽だという意見も。
- ひとりっ子ママの51.3%が「お友達と遊ぶ機会をたくさんつくること」を心掛け、子どもの社会性を育てることを意識。また「わがママを聞きすぎない」48.7%なども高く、過保護にならないように心掛けている。
- 複数子ママは「不公平にならないこと」58.6%や「それぞれを尊重すること」51.7%を心掛けながら子育て。時間や労力、お金が分散され、それぞれを十分にケアできないジレンマや平等に対応することの難しさを感じている。
- 兄弟姉妹で可愛さや接し方に差があるママは3割。差がある理由は「一番下の子(末子)だから」55.9%が圧倒的。
- 男の子ママにとって、男の子は「怪獣」64.4%、「宇宙人」41.1%のように、理解不能な存在でもあるが、「助っ人」47.6%、「恋人」31.2%のように、頼もしく愛しい存在でもある。
女の子ママにとって、女の子は「助っ人」61.3%、「友達」59.7%のように、仲間のような存在でもあり、「小さなママ」53.9%、「子どもの頃の自分」47.2%のように、自分と重なる存在でもある。
- 子どもの出産や人数のことを言われて嫌な思いをした経験のあるママは52.5%。特に、ひとりっ子ママが高いが、子どもが3人以上になると、子どもが多いことについてネガティブな言葉を投げかけられるママも存在。

<調査概要>

○調査手法：ママスタジアムでのインターネット調査（全国）

○対象者：ママスタジアムユーザーの同居の子がいるママ n=539 名（20 代 79 名、30 代 289 名、40 代以上 171 名）

○調査時期：2019 年 7 月 1 日～7 月 8 日

<調査参加者の同居の子ども別構成>

○子どもの平均人数：1.9 人

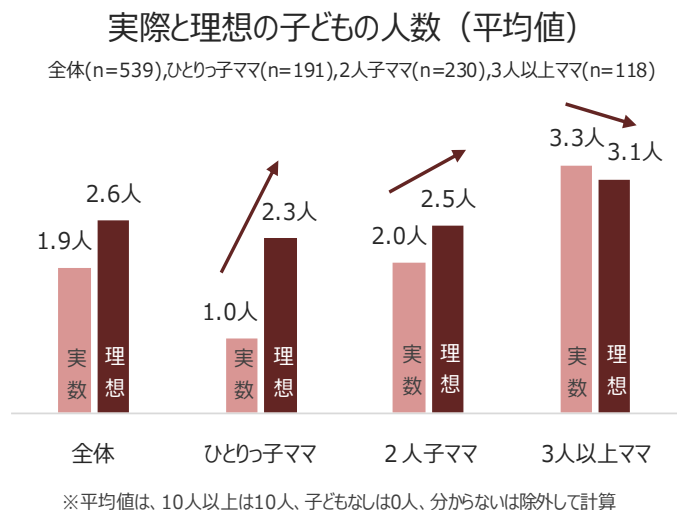
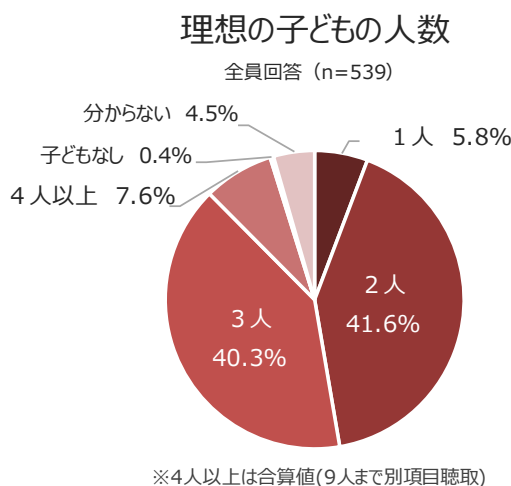
○ひとりっ子ママ：35.4%(191 名)

複数子ママ計 64.6%（348 名）うち、2 人子ママ：42.7%(230 名)、3 人以上ママ：21.9%(118 名)

○男の子ママ：70.9%(382 名)、女の子ママ：67.2%(362 名)、男女両方ママ：38.0%(205 名)

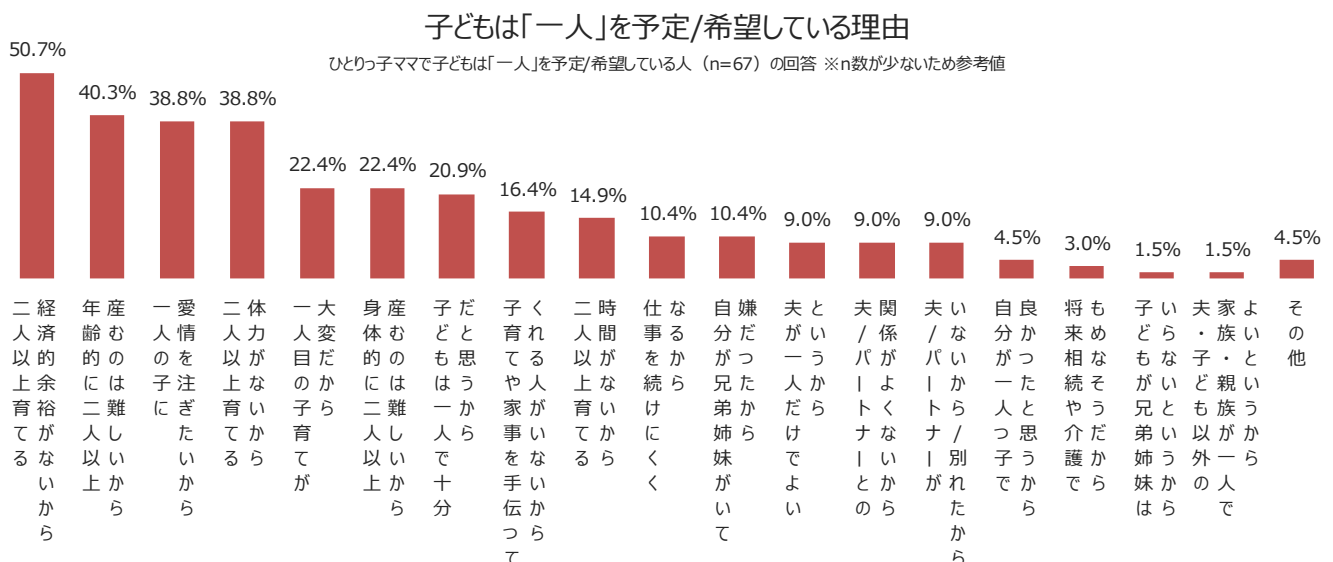
■8割以上のママが、子どもは2～3人が理想（平均2.6人）。3人以上ママになると、実数が理想を下回る傾向あり。

こそだてママの理想の子どもの人数は、2～3 人（平均 2.6 人）。ひとりっ子ママは、理想の子どもの人数の平均値が 2.3 人と実数を大きく上回り、理想的には子どもがもう 1 人は欲しいという意向がみえる。3 人以上のママになると、実数よりも理想の子どもの人数の平均値が下回り、3 人で十分だと考える傾向もみられる。



■ひとりっ子を予定/希望するママの 50.7%は、経済的余裕のなさが理由。年齢的な理由は 40.3%。

ひとりっ子ママで、子ども 1 人を予定/希望している理由として高くあがる項目は、「経済的余裕のなさ」50.7%。次いで、「年齢的に難しい」40.3%、「一人に愛情を注ぎたい」38.8%、「体力がない」38.8%などがあがる。経済的な問題と年齢や体力的な問題が子どもを複数持つことへのネックとなっていることが分かる。



■ひとりっ子のメリットは、愛情も時間もお金も一人に注げること。複数子のメリットは、子ども同士で成長し合えること。ママの負担に関しては、ひとりっ子の方が楽だという意見がある一方、複数子の方が楽だという意見も。

ひとりっ子ママは、「100%子供に寄り添える」「時間も愛情もお金もかけられる」「微妙な変化に気づける」など、愛情も時間もお金も一人に注げることがメリットにあげ、複数子ママは、喧嘩したり、遊んだりする中で、「優しさや忍耐力がつく」「社会性が身につく」「支え合える」など、子ども同士で成長し合えることがメリットとしてあがった。また、ひとりっ子は一人なので楽だというコメントがある一方、兄弟姉妹がいた方が、子ども同士で遊ぶので楽というコメントも。ママの負担という面からみると、それぞれどちらも自分の状況をポジティブに捉えようとしていた。

ひとりっ子のメリット (OA) ※ひとりっ子ママ (n=191) の回答より抜粋

- 100パーセント、子供に寄り添ってあげることができる。(40代以上ママ)
- 時間も愛情もお金もかけてあげられる。(20代ママ)
- 微妙な変化にすぐ気がつくところ(30代ママ)
- 精神的にも経済的にも自分にゆとりがあるので、子供に優しくなれる。(40代以上ママ)
- 一人の時間が持ちやすいし、一緒に出かけるのも楽。(40代以上ママ)
- 他の兄弟姉妹がないので比べることも鼻屑もない。(40代以上ママ)
- 自分自身三人兄弟で一番ツライとき、対応して欲しいときに対応が後回しだったので(30代ママ)

複数子のメリット (OA) ※複数子ママ (n=348) の回答より抜粋

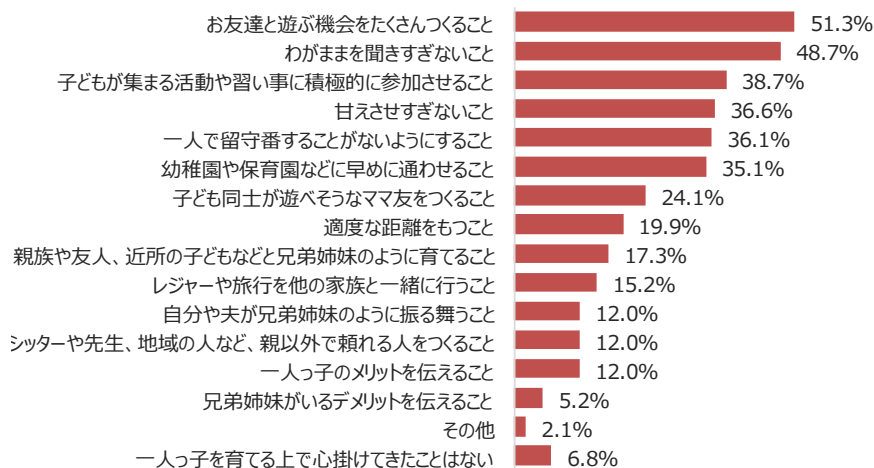
- 賑やか・喧嘩したり一緒に遊んだり…楽しそう。(20代ママ/3児)
- 優しさや忍耐力がつく。(20代ママ/2児)
- 家族内でも、小さな社会が出来、社会性が身に付く。(30代ママ/3児)
- 将来親がいなくなつてから支え合える。大人にはわからない子ども同士の気持ちをわかって、支え合ってる。(30代ママ/2児)
- 兄弟で遊んでくれるので息抜きがしやすい。(30代ママ/2児)
- 適度に見ないことが出来る。出来ないことは出来ないし割り切れることで、自分が我慢をしすぎない、犠牲にしなくなった。(30代ママ/2児)
- 大きくなった時に姉妹がいてよかったと自分自身思っているから。(20代ママ/3児)

■ひとりっ子ママの51.3%が「お友達と遊ぶ機会をたくさんつくること」を心掛け、子どもの社会性を育てることを意識。また「わがママを聞きすぎない」48.7%なども高く、過保護にならないように心掛けている。

ひとりっ子ママは、「お友達と遊ぶ機会をたくさんつくる」51.3%、「わがママを聞きすぎない」48.7%、「活動や習い事に積極的に参加させる」38.7%、「甘えさせすぎない」36.6%、「園に早めに通わせる」35.1%など、ひとりっ子を育てる上でデメリットだと感じている部分をカバーするように、様々なことを心掛けている。

ひとりっ子を育てる上で心掛けてきたこと

ひとりっ子ママ (n=191) の回答



ひとりっ子のデメリット (OA)

※ひとりっ子ママ (n=191) の回答より抜粋

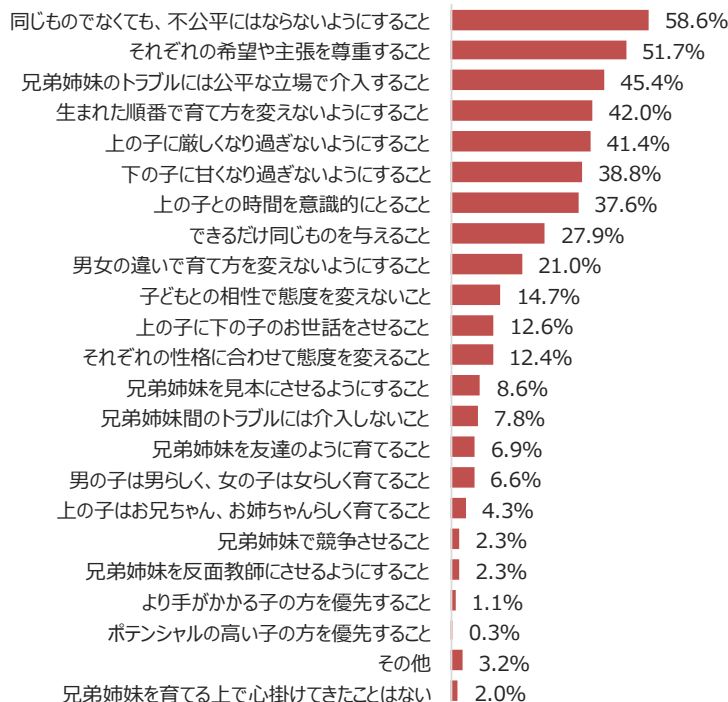
- 社会性を学びづらい。競争心を養いづらい。兄弟と助け合うことができない。(20代ママ)
- 身近な子ども同士のコミュニケーション能力が育ちにくいと感じる。(30代ママ)
- わがママに育ったり、自己中心的になりそう。(30代ママ)
- 親が子を構い過ぎて過保護になりがちで、いろんな機会を奪ってしまっていると反省。(40代以上ママ)
- 協調性に欠ける。全て自分のものだと思い込んでしまうので、そうではないと教えるのが大変。(40代以上ママ)
- 私は一人っ子でした。寂しい思いも共有できずに一人過ごさなきゃいけない。(30代ママ)

■複数子ママは「不公平にならないこと」58.6%や「それぞれを尊重すること」51.7%を心掛けながら子育て。時間や労力、お金が分散され、それぞれを十分にケアできないジレンマや平等に対応することの難しさを感じている。

兄弟姉妹のいるママは、「不公平にならないように」58.6%、「それぞれの希望や主張を尊重」51.7%、「トラブルには公平な立場で介入」45.5%など、兄弟姉妹間で不公平にならないよう意識。兄弟姉妹の子育てのデメリットでは、時間的にも労力的にも金銭的にも、ひとりひとりを十分にケアできないジレンマや、平等に対応する難しさなどがあがった。

複数子を育てる上で心掛けてきたこと

複数子ママ (n=348) の回答



複数子のデメリット (OA)

※複数子ママ (n=348) の回答より抜粋

- 一人一人にゆとり向き合えない。(20代ママ/2児)
- 親の目が行き届きにくい。(20代ママ/2児)
- 平等に愛情が届いているか心配。(20代ママ/2児)
- 区別なくしてつつもりでも年齢や性格により区別しているように受け取らせてしまうところ。(30代ママ/2児)
- どうしても下の子優先になってしまう場面が多く。上の子に寂しい思いをさせてしまっていると感じること。(30代ママ/2児)
- 兄弟姉妹でも合う合わないがある。上の子に我慢させがちになる。(30代ママ/2児)
- 性格もそれぞれ違うのに、すぐ対等に比べてしまう。(30代ママ/2児)
- とにかくお金が足りない。手も目も完全には届かない。2人しか手を繋げないし無理がある。(40代以上ママ/3児)
- 平等に育ててつつもりが、真ん中の子供はスルーしてしまう事が多々あり、可哀想な事した。あと学費が大変!。(40代以上ママ/5児)

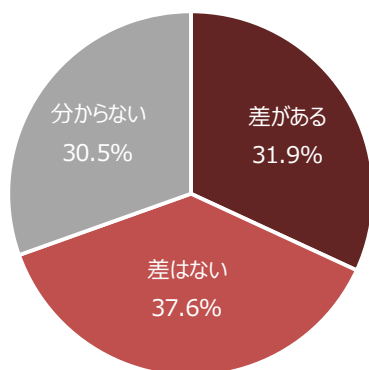
■兄弟姉妹で可愛さや接し方に差があるママは3割。差がある理由は「一番下の子(末子)だから」55.9%が圧倒的。

半数以上が不公平にならないことを心掛けている一方、子どもに対して、兄弟姉妹で可愛さや接し方に差があると答えたママは31.9%存在。「一番下の子(末子)だから」55.9%、「最初の子(長子)だから」22.5%のように、子どもの生まれ順が、可愛さや接し方に差がでる理由として上位にあげられる。

兄弟姉妹の差

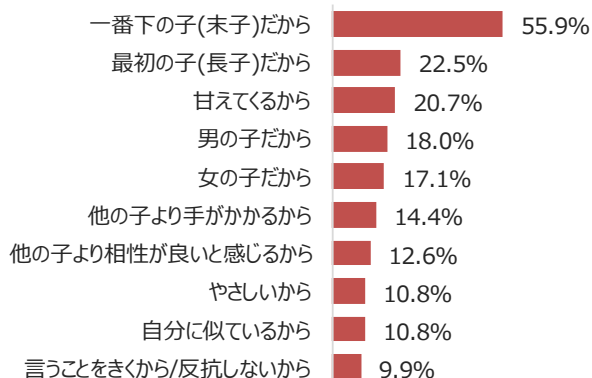
※複数子ママ (n=348) の回答

Q.子どもに対して兄弟姉妹で可愛さや接し方に差がありますか



兄弟姉妹で差がある理由

兄弟姉妹で差があると回答したママ (n=111)



■男の子ママにとって、男の子は「怪獣」64.4%、「宇宙人」41.1%のように、理解不能な存在でもあるが、「助っ人」47.6%、「恋人」31.2%のように、頼もしく愛しい存在。

女の子ママにとって、女の子は「助っ人」61.3%、「友達」59.7%のように、仲間のような存在でもあり、「小さなママ」53.9%、「子どもの頃の自分」47.2%のように、自分と重なる存在でもある。

男の子を比喻で表した上位5位は、「怪獣」64.4%、「助っ人」47.6%、「宇宙人」41.1%、「恋人」31.2%、「小動物」28.5%。

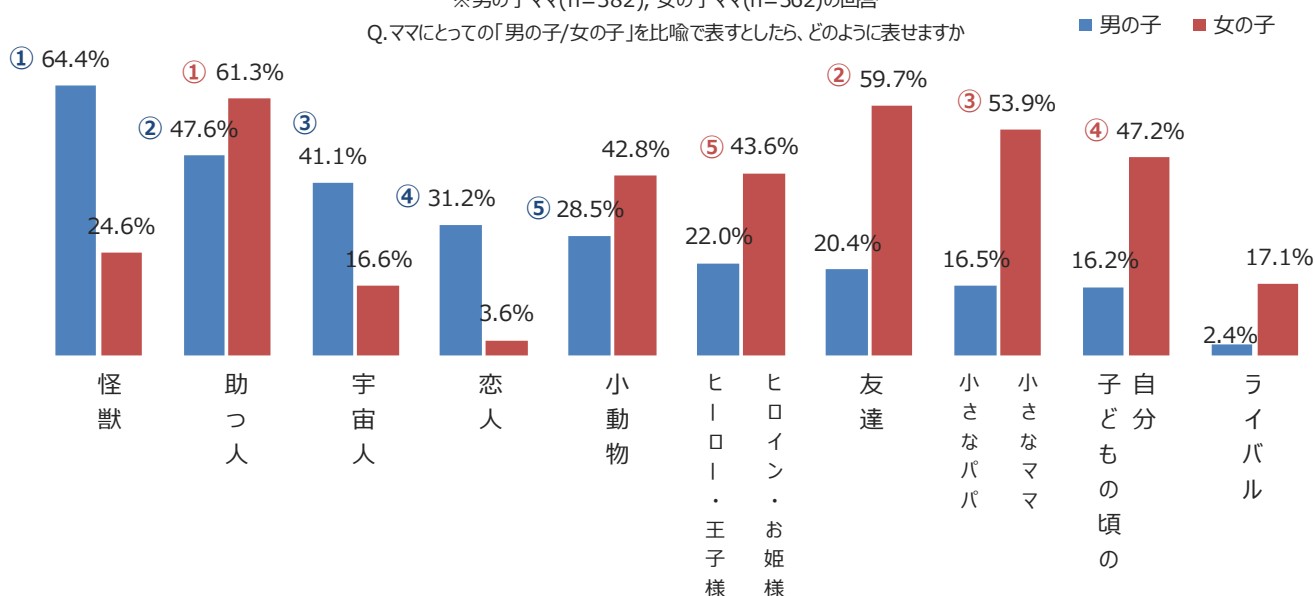
「見えない敵と戦っている」「水たまりや泥には飛び込む」などの謎の行動や、「重い荷物を持ってくれる」「ママを守ってあげると言う」「ママ大好きと言う」などの頼もしく愛らしい言動などがエピソードとしてあがった。

一方、女の子の比喻上位5位は、「助っ人」61.3%、「友達」59.7%、「小さなママ」53.9%、「子どもの頃の自分」47.2%、「ヒロイン・お姫様」43.6%。「お手伝いをやりたがる」「安心してまかせられる」「いつも私の味方」「尊敬し合える」「小さいのに中身は大人」など、頼もしく心強い仲間であり、分身のような存在であるエピソードがあがった。

ママにとっての男の子/女の子

※男の子ママ(n=382), 女の子ママ(n=362)の回答

Q.ママにとっての「男の子/女の子」を比喻で表すとしたら、どのように表せますか



男の子のエピソード (OA)

※男の子ママ (n=382) の回答より抜粋

- 見えない敵と戦っている。写真を撮るときは常に変顔。(30代ママ)
- 気を付けてねと言ったそばから怪我をする。(20代ママ)
- 体操着のポケットにはダンゴムシ。水たまりや泥には容赦なく飛び込む。お友達と、うんこと叫んだり走ったりするだけの謎の遊び。(20代ママ)
- 飲み物一つ、デザート一つだけで実験が始まる。(30代ママ)
- 棒が落ちてたら拾って振り回す(40代以上ママ)
- ママを守ってあげるからねと何かあったら言ってくれる(30代ママ)
- 重い荷物を持ってくれる。レディファーストを実践してくれる。(40代以上ママ)
- ママ大好きなど頻繁に言ってくれます。(40代以上ママ)
- 集中すると話しかけても本気で聞こえてない。(30代ママ)

女の子のエピソード (OA)

※女の子ママ (n=362) の回答より抜粋

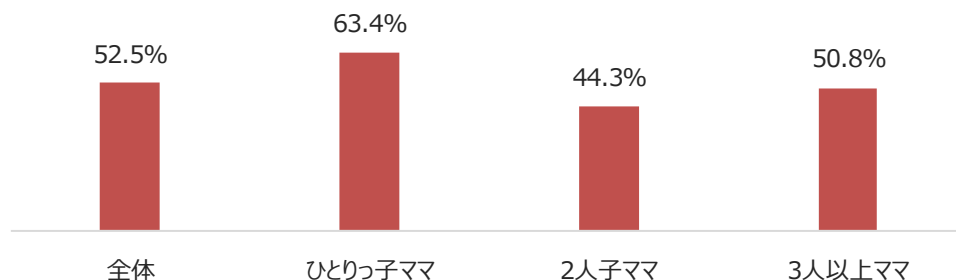
- ママの真似、お手伝いを自分からやりたがる。(20代ママ)
- 二、三個頼んでも全て覚えてやりとげること。頼み事は安心してまかせられる。(30代ママ)
- まわりを良く見ている。空気がよめる。小さいのに中身は大人とかわらない。(30代ママ)
- いつも私の味方で心強い、気が利く、聞き上手&話し上手、女同士だから気が合う、お互い切磋琢磨し尊敬し合える仲間。(40代以上ママ)
- お世話ずき。友達や年下の子の靴を出してあげたり、寝かしつけてトントンしてあげたりと、世話を焼いている。(30代以上)
- お洋服を着た後にパパに「可愛い?」と聞きに行く。(20代ママ)
- 可愛い洋服を着たがる。(20代ママ)

■子どもの出産や人数のことを言われて嫌な思いをした経験のあるママは52.5%。特に、ひとりっ子ママが高いが、子どもが3人以上になると、子どもが多いことについてネガティブな言葉を投げかけられるママも存在。

子どもを出産することや子どもの人数、性別などについて、他の人に言われて嫌だと感じたことのあるママは、全体の52.2%。ひとりっ子ママが63.4%と最も高い。嫌だった言葉としては、「2人目以降の催促」や「次に生まれる子どもの性別指定」などがあがった。一方、3人以上ママも、子どもが多いことに対する否定的な言葉を浴びせられている。プライベートなことやコントロールできないことに土足で踏み込むような言葉に、多くのママが傷つけられている。

子どものことで傷ついた経験有無

※全員(n=539),ひとりっ子ママ(n=191),2人ママ(n=230),3人以上ママ(n=118)
Q.子どもを出産することや子どもの人数、性別について、他の人に言われて嫌だと感じたことがありますか



子どもの出産や人数について、他の人から言われて嫌だと感じた言葉 (OA)

※子どものことで他の人に言われて嫌だった経験のあるママ(n=283)の回答から抜粋

- 孫はまだか、まだかとずっと言われた。(30代ママ/男女2児)
- 子どもを授かって結婚したことについて、否定的な意見を言われたり、嫌な目でみられたりすること。(40代以上ママ/男1児)
- 子供がいなければ作れと言われ、1人居たら次はいつ？と聞かれ、周りの人が思う理想の子供の人数を押し付けられているような気がする。(30代ママ/男2児)
- 近所の人に、一人ではダメよ、可哀想。ワガママになる。と。うんざりするし、事情も知らずに迷惑だと思った。(30代ママ/女1児)
- 旦那のお婆ちゃんから跡取りの男の子を産めと言われたこと。(40代ママ/女1児)
- 男の子の次は女の子ね～なんて事をよく言われた。次が女の子かなんて分からないのに勝手な事ばかり言わないで欲しかった。(30代ママ/男1児)
- 男の子2人兄弟なので、よく「3人目は？」「次は女の子だね！」と言われる。私自身もう1人、できれば女の子が欲しいとは思っているけれど、家計的に難しい状態。それなのに上記のことを平気で挨拶のように言われると、すごく不愉快な気持ちになる。(20代ママ/男2児)
- 二人目妊娠中に、「私立中学に入れさせてあげれないなら産んだらかわいそう」といわれたこと。余計なお世話。(30代ママ/女2児)
- 女は3人産んで一人前。(40代以上ママ/男女3児)
- 兄妹のママから三男が産まれた後に気の毒ねと笑われた事。(30代ママ/男3児)
- 3人目までは素直におめでとうと言われることが多かったが、4人目となると、出来ちゃったの？と言われることが圧倒的に多い。(30代ママ/男女4児)
- 職場の上司から妊娠のタイミングを考えると言われたこと。(20代ママ/女1児)
- 面接時に子供の話をした途端顔色が変わって話がネガティブな感じになったこと。(20代ママ/男2児)

*1「博報堂こそだて家族研究所」 <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/announcement/24207>

晩産化・少子化、共働き世帯の増加、夫や祖父母の育児参加など、近年大きく変わってきた「こそだて家族」を研究する専門組織です。「妊娠期から小学生の子どもを持つ家族」を対象にした研究調査、企画立案などを行っています。

*2「ママスタジアム」 <http://mamastar.jp/>

月間800万人以上のユーザーに利用される日本最大級のママ向け総合情報サイト。

育児や家族に関することから、話題の社会問題やファッション・美容までママの日常を取り巻くあらゆることについて活発な情報交換がなされています。またママに役立つコラム、気になる情報を編集部がママ目線で日々配信しています。

本件に関するお問い合わせ：博報堂広報室 戸田 TEL：03-6441-6161